

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 10月 1日

【評価実施概要】

事業所番号	3770101768
法人名	医療法人社団 青冥会
事業所名	認知症高齢者グループホーム若葉荘
所在地	香川県高松市三谷町1654番地5 (電話) 087-888-7008

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成19年8月8日	評価結果日	平成19年10月1日

【情報提供票より】(19年 7月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 4月 19日
ユニット数	3ユニット 利用定員数計 27人
職員数	23人 常勤 13人、非常勤 10人、常勤換算 21.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り
	1階建ての1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000円	その他の経費(月額)	14,000円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,300円			

(4) 利用者の概要(7月 1日現在)

利用者人数	27名	男性	8名	女性	19名
要介護1	7名	要介護2	7名		
要介護3	8名	要介護4	4名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 80.9歳	最低	56歳	最高	99歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ミタニ藤田病院、松之内歯科医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業主体は医療法人で、病院、老人保健施設が隣接しており、近くに同系列のグループホームが散在している。職員は、常に入居者の生活環境を整えることを意識し、対応している。特に、医療、保健支援において、急変、事故の場合でも即対応できる点は、連携もうまく取れており、入居者が安心して生活できる体制が整っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とそれ後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回、地域交流について課題であり、自治会、小学校、その他、地域の社会資源の理解と活用が問われていたが、以後、交流を深める努力が少しずつ実践されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	地域の交流は、道路から入り込んだホームの立地条件も関連しているのではと考えられるが、努力が実って、農家から西瓜の提供があったり、理解が得られている。ますますの努力を期待する。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、地域密着型の理解と支援がサービス向上に反映できるよう努めている。自治会、地域包括支援センター、家族、地元住民で話し合い、内容を活かし、ホーム存在の意義と役割を具体的に明示し、相互交流できることが望まれる。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	利用者のホームでの様子や健康状態は、きめ細かい報告がなされ、家族の要望、意見は、極力取り入れるよう努力している。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩時や買い物での出会いを大切に、交流を広げている。夏祭りの案内等、参加を募る工夫と連携を積み重ねている。今後の取り組みが期待される。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	3ユニット各々の運営理念に基づいた独自の理念を掲げ、入居者本位の支援に取り組んでいる。	○	独自の理念を掲げ、入居者本位の支援に取り組んでいるが、運営理念の明示を大きくし、分かりやすい場所への掲示が望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は毎朝、唱和し確認されており、管理者と職員は理念を共有している。理念の実践に向け、日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域との繋がりは、運営推進会議のほか、祈りに触れ働きかけているが、交流が深まるまでには至っていない。	○	地域住民が、事業所に訪れやすい工夫を期待したい。ホーム行事への参加、入居者との交流の定例化等の取り組みが望まれる。また、中学生、婦人会のボランティアの受入れも積極的に行われるよう期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義の理解が改善に結びついておらず、活用に至っていない。	○	評価の意義と改善がミスマッチしているので、工夫が望まれる。話し合いの場を共有し、改善につなげるよう期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの状況報告、課題を協議して、支援と理解が得られるよう努力している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外には交流の機会がないので、これを機に連携を深め、サービスの質の向上に努めて欲しい。</p>	○	<p>お互いに相談できる関係作りや定期的な連絡会を持つ等、連携を深めていく取り組みが望まれる。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時はもちろんのこと、手紙等で日常生活状況の報告をしている。健康状態の報告は大変喜ばれ、安心と信頼を得ている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情箱の設置、面会時に、家族からの情報を入手し、記録する等、職員全員が周知、共有して支援している。苦情や意見を受け付けやすい状況作りに努力している。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員異動は、利用者への影響が大きいことは十分意識されていることがうかがえる。人数不足の解消ができればよいと思われる。</p>	○	<p>同系列の人数不足による異動がある現状を最小限に留め、馴染みの関係作りを期待したい。</p>
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修への取り組み、特に、外部研修への参加の意義を、管理者、職員とも考え、工夫することが望まれる。</p>	○	<p>外部研修参加者が少ないようであるが、可能な限り参加し、サービスの質の向上が図られるよう期待する。</p>
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>ホーム内では相互研修が実施されているようだが、外部との交流研修会で意見交換の場を持つ等して、質の向上に努力して欲しい。</p>	○	<p>同業者や県内の交流、研修会に、極力参加できる工夫が望まれる。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族や本人の希望に合わせて話し合い、サービスをしている。緊急相談、早急なサービス開始においては、関係者の協力を得て、安心感が持てるよう努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>不安、苦しみ、悲しみ、喜び等、感情を共有し、理解に努めている。お互いさまの関係を築いている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>意志を十分に伝えられない利用者が多く、今後、家庭との連携等、工夫が望まれる。</p>	○	<p>一人ひとりの希望、意向の違いや、一日の中でも起伏があるので、本人本位の検討をするよう努力を期待する。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画に具体性を盛り込んで欲しい。アセスメントが浅いので、本人本位の観察、検討を期待する。簡易アセスメントをさらに工夫されたい。</p>	○	<p>アセスメントが浅いと介護計画の具体性に欠けるので、本人本位の検討を深め、3か月ごとの基本的な見直しの際、本人が現在よりよい状態になるよう、本人、家族の要望に応じた見直しを期待する。</p>
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>変化に応じて、随時見直しはされており、現状に応じた介護計画が作成されている。具体性が深まると更に良いと思われる。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院への通院、リハビリの付き添い、特別な外出支援等、要望に応じて、必要な対応をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	関連医療機関と連携して支援、介助ができています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族、主治医と十分話し合い、希望に添えるよう努力している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	誇りやプライバシーを大切に、声かけや支援、誘導を含め、適切に対応している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活プログラムはあるが、その人のペースに合わせた対応をしている。生活プログラムを優先しない、希望に添った支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者のペースで、職員共々、楽しい会話のもとに食事している。できる範囲で準備、後片づけを一緒にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴を楽しむに至っていないようなので、ゆったり入浴できる工夫が欲しい。職員側の都合でなく、家庭浴の配慮が望まれる。	○	家庭の入浴とは違った時間帯で行われているので、可能な限り、家庭での入浴に近い支援を期待する。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意分野を重視し、洗濯たたみ、花づくり、水やり等を声かけし、張りのある生活に結びつくよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員の人数や、業務上困難な場合もあるが、極力、意向に添えるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の声かけ、見守りにより、鍵はかけないで支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災訓練は行っている。また、災害時、地域の協力体制があり、訓練時に地域参加を呼びかけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量チェック表を作成し、水分摂取量の少ない人には声かけし、摂取するようにしている。嚥下、むせ等にも留意している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は落ち着いた明るい空間が保たれ、入居者の作品等も展示され、居心地のよい空間作りがなされている。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は過ごしやすく工夫され、思い出の品、使い慣れた家具等の持ち込みを本人や家族と相談し、居心地よい居室への配慮がうかがえる。</p>		